

第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（案）の パブリックコメント実施結果概要

1 パブリックコメント実施の概要

①意見募集の期間

令和5年12月1日（金）～令和6年1月4日（木）

②意見提出の対象者

伊勢志摩圏域内に在住、通勤又は通学されている人など

③周知方法

- ・伊勢市公報
- ・伊勢志摩圏域の各市町ホームページ
- ・伊勢志摩圏域の各市町広報紙
- ・伊勢市公式LINE
- ・伊勢市行政チャンネル文字放送
- ・デジタルサイネージ「わがまちNAVI」

で周知するとともに、次に掲げる場所に備え置き、縦覧に供した。

<計画（案）の縦覧場所（40箇所）>

- ・伊勢市役所本庁舎（本館1階市民ホール、企画調整課、総務課）
- ・伊勢市役所各総合支所生活福祉課（二見、小俣、御園）
- ・伊勢市役所各支所（神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木）
- ・伊勢市立図書館（伊勢、小俣）
- ・生涯学習センター（いせトピア、二見）
- ・いせ市民活動センター
- ・鳥羽市役所（企画財政課、市民課、坂手連絡所、加茂連絡所、鏡浦連絡所、長岡連絡所、桃取連絡所、答志連絡所、菅島連絡所、神島連絡所）、鳥羽市保健福祉センターひだまり、鳥羽市立図書館
- ・志摩市役所（総合政策課）
- ・玉城町役場（総務政策課）
- ・度会町役場（市民ホール、みらい安心課）
- ・大紀町役場（総務企画課）
- ・南伊勢町役場（南勢庁舎、南島庁舎）
- ・明和町役場（まちづくり戦略課）

2 意見募集の結果

- ・意見数4件（意見人数2人）
 - オンライン 3件（1人）
 - メール 1件（1人）

第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（案）パブリックコメント意見に対する考え方について

NO	意見対象箇所	意見内容	市の考え方	資料頁	ビジョン（案）の修正の有無
1	全体	指標について活動についての指標は記載されているが、成果についての指標が設定されておらず、進捗管理が困難であるように思う。	各取組の進行管理においては、具体的な成果を表す成果指標の設定が重要であると認識しています。一方で、指標のわかりやすさ、客観性、定期的な数値測定が可能であることなどを踏まえて、連携市町間で設定する指標を検討した結果、活動についての指標のみの設定となった取組もございます。ビジョンの進行管理においては、各指標の目標値に対する達成状況を確認するとともに、指標には現れない定性的な部分についても現状把握し、その後の取組の方向性を毎年度整理しながら進めてまいります。	-	無
2	圏域の将来像	圏域の将来像：交付金のための計画と承知はしているが、各市町の人口推計や圏域としての具体的な課題とその対応、1次2次の振り返り等にもう少し触れる必要があるのではないかと。	第3次共生ビジョン（案）の作成にあたっては、圏域の現状と課題を整理するとともに、第2次共生ビジョンの暫定総括として、第2次共生ビジョンにおける取組の進捗及び課題を整理いたしました。それらを踏まえ、伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会において、ビジョン案の審議を行ってまいりました。また、各市町の人口ビジョン等を踏まえ、「Ⅱ 圏域の将来像」において、圏域人口の将来展望を設定しております。	3	無
3	p5 休日・夜間応急診療所の維持運営について	休日・夜間応急診療所の維持運営について、利用者数(人)の実績値から目標値が倍増しているが、いかなる理由か。本文若しくは備考に記載が必要では。	利用者数については、コロナの影響による受診控え等により、令和2年度～4年度の実績値は落ち込んだ状況となっております。現在は、コロナの影響も落ち着いてきていることから、コロナ禍以前の実績値（1万人程度）を参考とし、目標値を設定したものです。本内容については、備考欄に補足説明いたします。	5	無 (補足説明の追加のみ)
4	全体	このエリアは観光と一次産業ということになるが、それ以外にもハイテク工場だとか、アートなども交えた総合エリア地域とする。市町だけでなく、各産業やNPOなども参加する組織にする、一種の地域国家のような試みにする。また、将来は空飛ぶ車もできるので、伊勢湾の対岸の田原市と提携して、伊勢湾を飛んで伊勢志摩地域に来る観光客（その逆も）用のための駐車場も整備しておく。	定住自立圏構想については、国の定める要綱に基づき、中心市と近隣市町が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体に必要な生活機能等を確保することを目的としております。今後、頂いたご意見を参考としながら、圏域市町及び関係機関と圏域の発展に繋がる取組の拡充・追加を検討し、伊勢志摩定住自立圏構想の推進に努めてまいります。	-	無